



HD Video Wall Controller

HD ビデオウォール・コントローラー
EXT-HD-VWC-144
取扱説明書



■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。
- 本機を使用中に本体が熱くなりますが、異常ではありません。以下の事項に注意して設置、運用を行ってください。
 - ・本機の周りに放熱を妨げる物を置かないでください。
 - ・本機に長時間、物が触れないようにしてください。
 - ・本機に長時間、手や皮膚が触れないようにしてください。



警告 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源コード、専用アタッチメントプラグを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源コード、専用アタッチメントプラグを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源コード・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
 - 直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■操作上の注意

本機は 2 × 2 の構成のみに対応します。4 × 1 (横一列) や 1 × 4 (縦一列) 構成には対応していません。

■目次

■安全上の注意.....	2	●コントラストの調整.....	9
■操作上の注意.....	2	●輝度の調整.....	10
■目次.....	2	●サチュレーションの調整.....	10
◆はじめに.....	3	●色合いの調整.....	11
■製品の特長.....	3	●ベゼル補正.....	12
■梱包内容の確認.....	3	●OSDの設定.....	12
◆各部の名称と機能.....	4	●EDIDマネージメント.....	14
■本体.....	4	●IP設定の変更.....	14
●前面.....	4	●Telnet設定の変更.....	15
●背面.....	4	●UDP設定の変更.....	16
■IRリモコン.....	5	●システム設定.....	17
■電池の交換方法.....	6	◆高度な操作.....	18
■IRチャンネルの設定.....	6	■RS-232とIPの構成.....	18
■接続方法.....	6	●RS-232インターフェイス.....	18
◆操作方法.....	7	●RS-232の設定.....	18
■はじめに.....	7	●IP/UDPの構成.....	18
●スタンバイモード.....	7	■コマンド.....	19
●電源をONにする.....	7	●#display_telnet_welcome.....	20
●IRリモコンの使用.....	7	●#fadefault.....	20
■メニューシステム.....	7	●#help.....	20
●メニューシステムへのアクセス.....	7	●#lock_edid.....	20
●出力解像度の設定.....	9	●#mute.....	20

●#power.....	20	●#show_ipmode.....	23
●#reboot.....	20	●#show_lock_edid.....	23
●#set_bezel.....	20	●#show_mac_addr.....	23
●#set_brightness.....	20	●#show_mute.....	23
●#set_contrast.....	20	●#show_netmask.....	23
●#set_edid.....	21	●#show_output.....	23
●#set_gateway.....	21	●#show_power.....	24
●#set_hbezel.....	21	●#show_saturation.....	24
●#set_http_port.....	21	●#show_telnet_port.....	24
●#set_hue.....	21	●#show_tcp_access.....	24
●#set_ipadd.....	21	●#show_udp_port.....	24
●#set_ipmode.....	21	●#show_udp_remote_ip.....	24
●#set_netmask.....	21	●#show_udp_remote_port.....	24
●#set_output.....	22	●#show_vbezel.....	24
●#set_saturation.....	22	●#show_ver_data.....	24
●#set_telnet_pass.....	22	●#use_tcp_access.....	24
●#set_telnet_port.....	22	●#use_telnet_pass.....	24
●#set_udp_port.....	22	●#use_udp_access.....	24
●#set_udp_remote_ip.....	22	■ウェブインターフェイス.....	25
●#set_udp_remote_port.....	22	●内蔵ウェブインターフェイスの使用.....	25
●#set_vbezel.....	22	●Video ⇒ I/O Setup.....	25
●#show_bezel.....	22	●EDID ⇒ Assign.....	26
●#show_brightness.....	23	●EDID ⇒ Bank Names.....	27
●#show_contrast.....	23	●EDID ⇒ Upload / Download.....	28
●#show_gateway.....	23	●Network.....	28
●#show_hbezel.....	23	●System.....	30
●#show_http_port.....	23	◆付録.....	31
●#show_hue.....	23	■ファームウェアのアップグレード.....	31
●#show_ip.....	23	●ウェブインターフェイスを使用.....	31
●#show_ipconfig.....	23	●USBインターフェイスを使用.....	31
		■仕様.....	31

◆はじめに

■製品の特長

- ・ 対応信号：HDMI
- ・ 最大対応解像度：1080p、1920 × 1200
- ・ 4 台の HD 表示機器を組み合わせ、HD ソースから 2 × 2 ビデオウォールを構成。
- ・ 1 系統の HD ソースを 4 台の表示機器へ分配、スケーリング。
- ・ HDCP に準拠。
- ・ ベゼル補正機能はあらゆるベゼル幅に対応し、ディスプレイの画質を最適化。
- ・ 使いやすいオンスクリーンメニューとウェブサーバーインターフェイス。
- ・ ファームウェアはウェブサーバーインターフェイスまたは USB 経由でフィールドアップグレード可能。
- ・ IR 延長受光部 (EXT-RMT-EXTIRN) を付属。
- ・ ロック式電源端子。
- ・ ラック取付金具を付属。

■梱包内容の確認

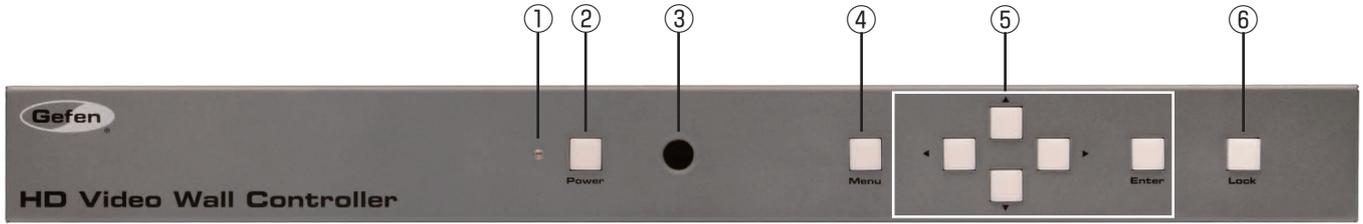
- ・ 本体 × 1
- ・ HDMI ケーブル (1.8m、MonoLOK) × 1
- ・ D-Sub9 ピンケーブル (1.8m) × 1
- ・ IR 延長受光部 × 1
- ・ IR リモコン × 1
- ・ 電源アダプター (ロック式) × 1
- ・ ラックマウント金具一式

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

◆各部の名称と機能

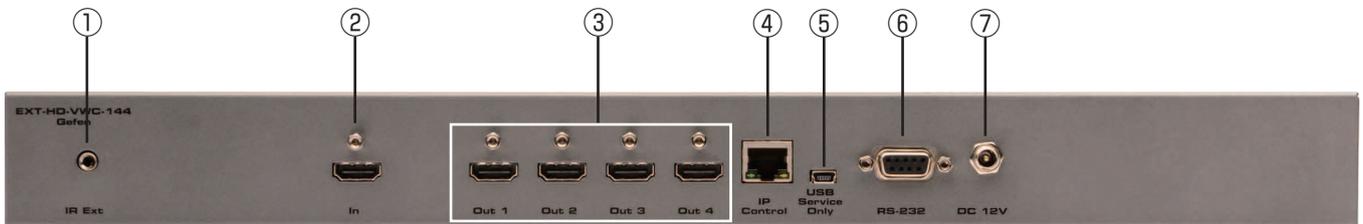
■本体

●前面



① 電源インジケータ	本機の電源がオンのとき青く点灯します。スタンバイモード時は赤く点灯します。
② Power : 電源スイッチ	電源をオン/スタンバイに切り替えます。電源がオンの時は青く点灯します。
③ IR sensor : IR センサー	付属の IR リモコンからの信号を受信する IR センサーです。
④ Menu : メニュースイッチ	OSD (On-Screen Display) メニューシステムを表示します。
⑤ ◀▶▶▶ Enter スイッチ	OSD メニューシステムの機能を選択します。
⑥ Lock : ロックスイッチ	前面パネルをロックします。ロック中、スイッチは青く点灯します。

●背面



① IR Ext : IR 延長端子	付属の IR 延長受光部 (型番 : EXT-RMT-EXTIRN) を接続します。
② HDMI In : HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを使用して、HD ソース機器を接続します。
③ Out (1 ~ 4) : HDMI 出力端子	HDMI ケーブルを使用して、最大 4 台の HD 表示機器を接続します。
④ IP Cont. : IP 制御端子	イーサネットケーブルを使用して、LAN に接続します (IP 制御)。IP の設定について詳しくは 18 ページ「■ RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑤ USB : USB 端子	ファームウェアのアップグレードに使用します。詳しくは 31 ページの「■ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
⑥ RS-232 : RS-232 端子	RS-232 ケーブルを使用して、RS-232 機器に接続します。RS-232 制御の設定については 18 ページ「■ RS-232 と IP の構成」を参照してください。
⑦ DC 12V	付属の電源アダプターを接続します。ロック式端子の締めすぎにご注意ください。

■ IR リモコン



① Info ボタン	出力解像度情報を表示します。
② Menu ボタン	内蔵のメニューシステムを呼び出します。
③ Exit ボタン	メインメニューまたはサブメニューを終了します。
④ Output Cycle ◀▶ : 出力切替ボタン	出力解像度を切り替えます。対応可能な解像度について、詳しくは 22 ページ「● #set_output コマンド」を参照してください。
⑤ Horizontal ◀▶ : 水平位置調整ボタン	画像の水平位置を調整します。◀ ボタンを押して画像を左に移動させ、▶ ボタンを押して画像を右に移動させます。
⑥ Vertical ◀▶ : 垂直位置調整ボタン	画像の垂直位置を調整します。◀ ボタンを押して画像を上を移動させ、▶ ボタンを押して画像を下に移動させます。
⑦ Power : 電源ボタン	本体の電源をオン / オフします。
⑧ ◀▶▲▼ OK ボタン	メニューシステムの項目を選択または値を変更します。「OK」ボタンで選択項目を確認します。
⑨ Mute ボタン	出力のオーディオ信号をミュートします。
⑩ Bezel Correction On/Off ベゼル補正ボタン	ベゼル補正を調整します。
⑪ 電池収納スロット	乾電池を収納します。必ず単 4 形乾電池をご使用ください。詳しくは 6 ページ「■電池の交換方法」を参照してください。
⑫ DIP スイッチバンク	リモコンの IR チャンネルを設定します。詳しくは 6 ページ「■ IR チャンネルの設定」を参照してください。

■電池の交換方法

- ① IR リモコン裏面にある電池カバーを取り外します。
- ② イラストのように、電極の方向を確認した上で電池を取り付けます。必ず単四電池（2本）をお使いください。
- ③ 電池カバーを取り付けます。



電極を逆に取り付けると、爆発する恐れがありますのでご注意ください。また使用済みの乾電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。

■ IR チャンネルの設定

IR リモコンのチャンネルは必ず「0」に設定してください。今後リリース予定のファームウェアでは IR チャンネルの変更に対応予定です。



本体と正しく通信するため、必ず IR リモコンのチャンネルは「0」に設定してください。

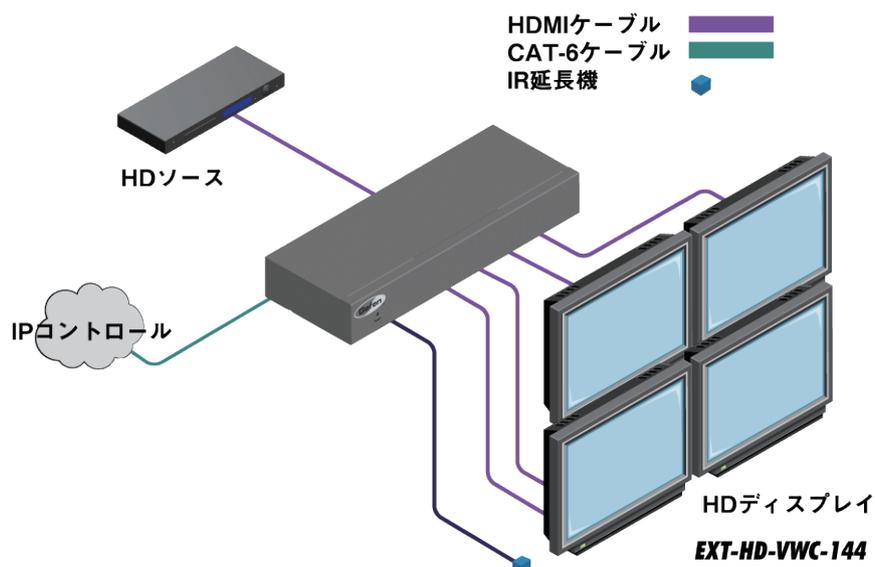


▼ DIP スイッチの設定

IR Channel	DIP settings
0	ON
1 (not used)	ON
2 (not used)	ON
3 (not used)	ON

■接続方法

- ① 付属の HDMI ケーブルを使用して、本体の「HDMI In」端子に HD ソース機器を接続します。
- ② 付属の HDMI ケーブルを使用して、本体の「Out 1」～「Out 4」端子に HD 表示機器を接続します。
- ③ オプション：イーサネットケーブルを使用して、本体の IP Control ポートとローカルエリアネットワーク（LAN）を接続します。
- ④ オプション：付属の IR 延長受光部を本体の IR Ext ポートに接続します。
- ⑤ 付属の電源アダプターを本体に接続します。ロック式端子の締めすぎにご注意ください。
- ⑥ 電源アダプターをコンセントに接続します。

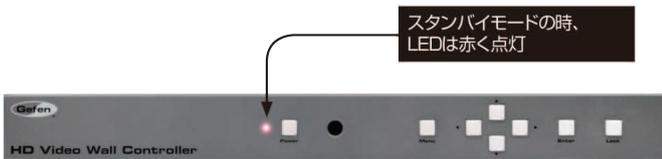


◆操作方法

■はじめに

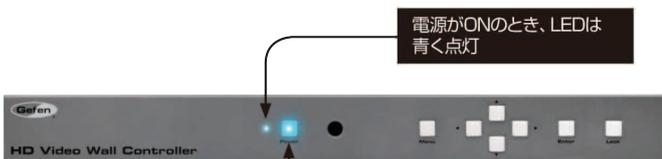
●スタンバイモード

前面パネル **Power** ボタンの横にある LED は、本体の電源ステータスを表示します。スタンバイモードでは、電源供給されていますが、オフの状態です。スタンバイモード中、LED は赤く点灯します。LED が点灯しない場合は、電源アダプターとの接続やコンセントの接続をご確認ください。



●電源をオンにする

本体のスタンバイ中、**Power** スイッチを押すと電源がオンになります。電源オン時 **Power** スイッチは青く点灯します。再度 **Power** スイッチを押すと本体はスタンバイモードに戻ります。



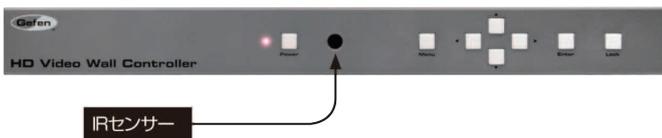
電源スイッチが点灯

●IR リモコンの使用

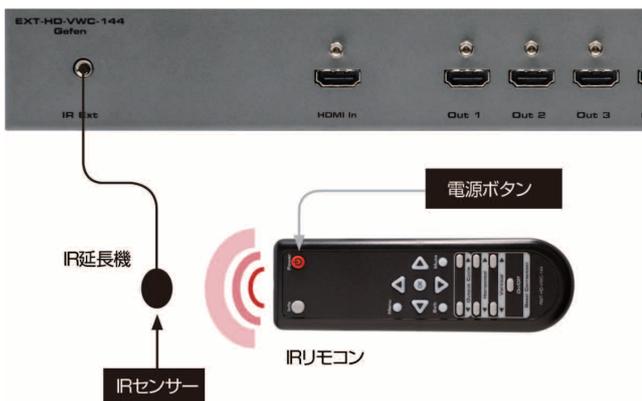
付属の IR リモコンを使用して、本体の電源をオン / オフできます。

スタンバイモード中に IR リモコンの **Power** スイッチを押すと、電源がオンになります。再度 **Power** スイッチを押すと電源が切れ、スタンバイモードに戻ります。

IR リモコンを使って全ての機能を操作することができます。詳しくは次項の「メニューシステムへのアクセス」を参照してください。



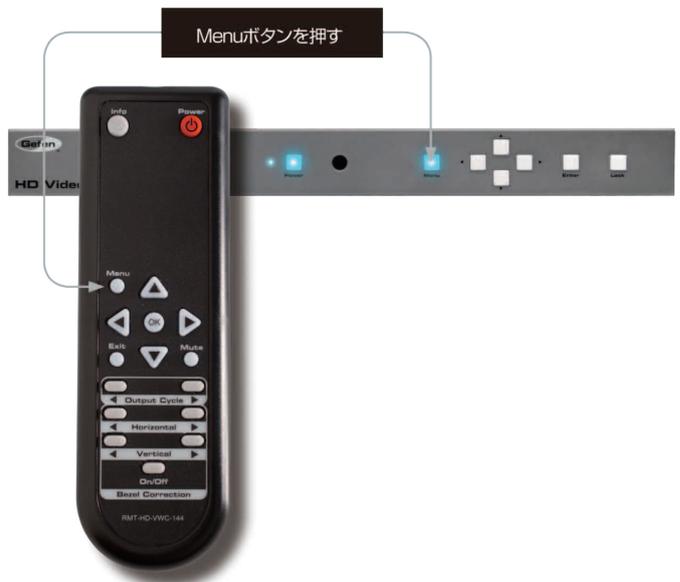
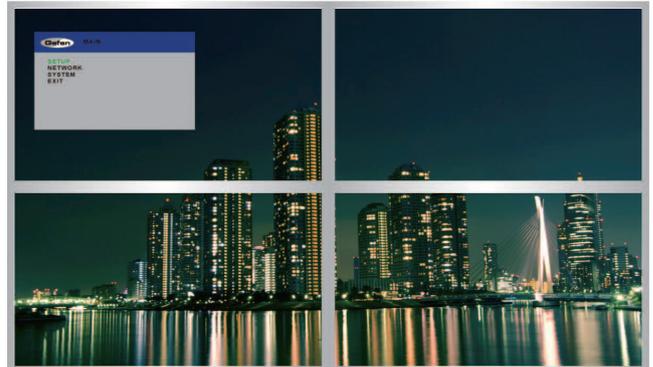
設置するキャビネットやマウントされている機器によっては、IR センサーの受信を遮断することがあります。この場合は本体の IR Ext ポートを付属の IR 延長受光部（型番：EXT-RMT-EXTIRN）を接続して使用します。IR 延長受光部は本体の前面パネルにある IR 受光部と同じように動作します。なお、IR リモコンは常に IR センサーに向けて操作してください。



■メニューシステム

●メニューシステムへのアクセス

本機は、内蔵のメニューシステムを使用して全てのビデオ機能を管理 / 操作できます。メニューシステムにアクセスするには、前面パネルまたは付属の IR リモコンの **Menu** ボタンを押します。

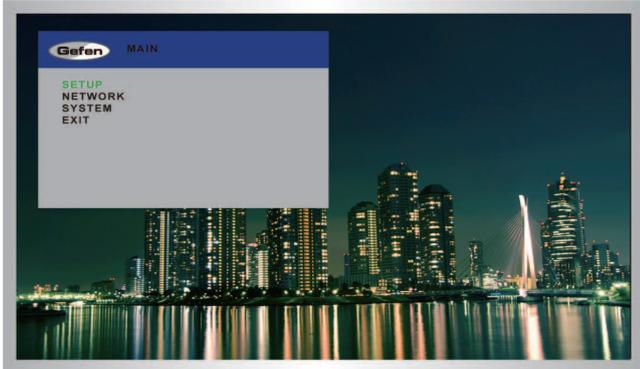


前面パネルの **Menu** スイッチを押すと、**Menu** スイッチはメニューシステムが画面に表示されているあいだ点灯し続けます。デフォルト設定は、画面の左上角にメニューシステムが表示されます。

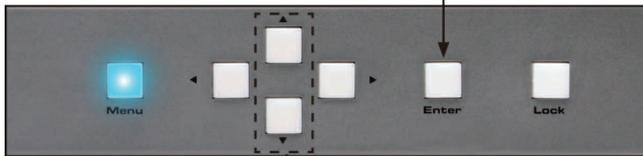
メニューシステムのタイムアウト時間はメニューシステムの「● OSD の設定」ページにて調整可能です (p13 参照)。

▼前面パネルの使用

◀▶▲▼スイッチを使用して、メニューシステムをナビゲートします。▲▼スイッチで上下に移動します。◀▶スイッチで選択した項目の値を変更します。Enter ボタンを押すと、選択を実行します。選択中の項目は緑色にハイライトされます。



ハイライトされたメニューを決定します。

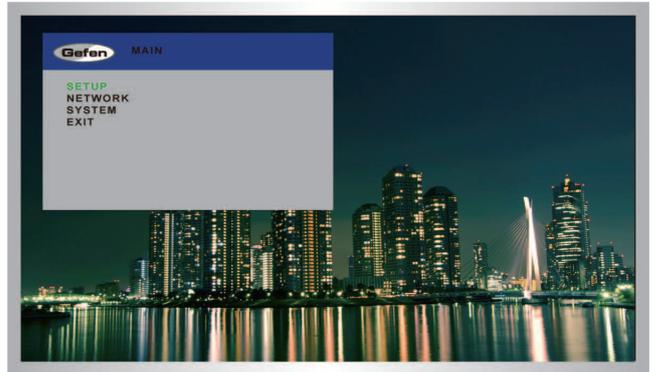


▲▼スイッチを使用してメニューシステムの項目を選択します。

▼IR リモコンの使用

IR リモコンには、前面パネルのスイッチと同じ動作を行うボタンがあります。

◀▶▲▼ボタンを使用して、メニューシステムをナビゲートします。▲▼ボタンを押して、上下に動かしします。◀▶ボタンを押して、選択した項目の値を変更します。OK ボタンで選択を実行します。選択中の項目は緑色にハイライトされます。



ハイライトした項目を選択します。



▲▼ボタンを使用してメニューシステム内の項目を選択します。

●出力解像度の設定



この変更を実行する前に、ディスプレイが選択された出力の解像度をサポートすることを確認してください。

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SET UP** メニューを表示します。



- ③ 再度 **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押すと、**OUTPUT RESOLUTION** メニューが表示されます。



- ④ ▲▼ボタンを使用して、希望の出力解像度をハイライトします。
⑤ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

●コントラストの調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SET UP** メニューを表示します。

- ③ ▲▼ボタンを使用して、**PICTURE SETTINGS** をハイライトします。

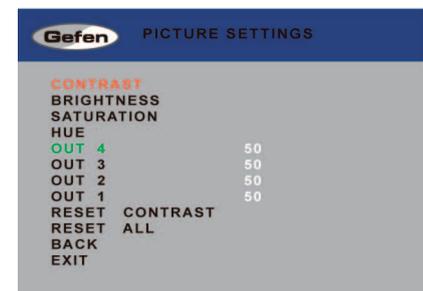


- ④ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**PICTURE SETTINGS** メニューを表示します。

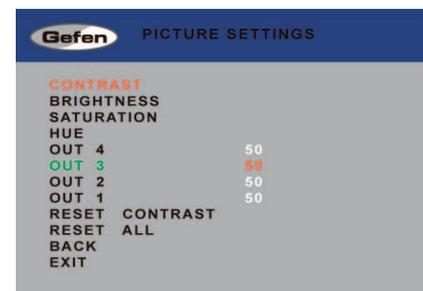
- ▲▼ボタンを使用して **CONTRAST** を緑色にハイライトします。



- ⑤ **Enter** スイッチを押して、**CONTRAST** オプションを選択します。
CONTRAST オプションはオレンジ色にハイライトされます。



- ⑥ ▲▼ボタンを使用して、希望の出力をハイライトします。
⑦ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、出力を選択します。
⑧ ◀▶スイッチを使用して、コントラスト値を変更します。



- ⑨ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。
⑩ 全ての出力をデフォルト設定に戻すには、**RESET CONTRAST** オプションを使用してください。

●輝度の調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



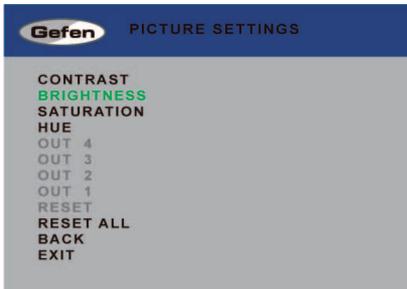
- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SETUP** メニューを表示します。

- ③ ▲▼ボタンを使用して、**PICTURE SETTINGS** をハイライトします。

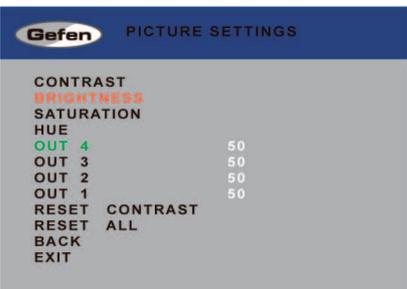


- ④ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**PICTURE SETTINGS** メニューを表示します。

- ⑤ ▲▼ボタンを使用して **BRIGHTNESS** を緑色にハイライトします。

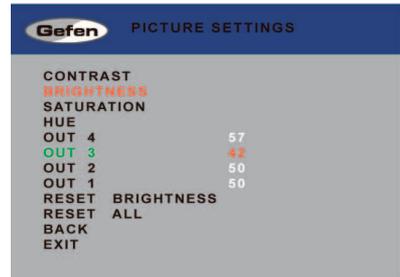


- ⑥ **Enter** スイッチを押して、**BRIGHTNESS** オプションを選択します。
BRIGHTNESS オプションはオレンジ色にハイライトされます。



- ⑦ ▲▼ボタンを使用して、希望の出力をハイライトします。
⑧ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、出力を選択します。

- ⑨ ◀▶スイッチを使用して、輝度値を変更します。



- ⑩ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

- ⑪ 全ての出力をデフォルト設定に戻すには、**RESET BRIGHTNESS** オプションを使用してください。

●サチュレーションの調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SETUP** メニューを表示します。

- ③ ▲▼ボタンを使用して、**PICTURE SETTINGS** をハイライトします。

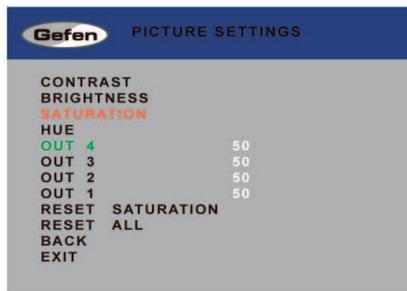


- ④ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**PICTURE SETTINGS** メニューを表示します。

- ⑤ ▲▼ボタンを使用して **SATURATION** を緑色にハイライトします。



- ⑥ Enter スイッチを押して、SATURATION オプションを選択します。
SATURATION オプションはオレンジ色にハイライトされます。



- ⑦ ▲▼ボタンを使用して、希望の出力をハイライトします。
⑧ Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、出力を選択します。
⑨ ◀▶スイッチを使用して、サチュレーション値を変更します。



- ⑩ 前面パネルの Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、変更内容を実行します。
⑪ 全ての出力をデフォルト設定に戻すには、RESET SATURATION オプションを使用してください。

●色合いの調整

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの Menu ボタンを押してメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、I/O SET UP メニューを表示します。
③ ▲▼ボタンを使用して、PICTURE SETTINGS をハイライトします。

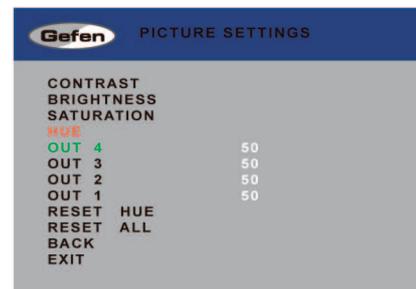


- ④ 前面パネルの Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、PICTURE SETTINGS メニューを表示します。

- ⑤ ▲▼ボタンを使用して HUE を緑色にハイライトします。



- ⑥ Enter スイッチを押して、HUE オプションを選択します。
HUE オプションはオレンジ色にハイライトされます。



- ⑦ ▲▼ボタンを使用して、希望の出力をハイライトします。
⑧ Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、出力を選択します。
⑨ ◀▶スイッチを使用して、Hue 値を変更します。



- ⑩ Enter スイッチまたは IR リモコンの OK ボタンを押して、変更内容を実行します。
⑪ 全ての出力をデフォルト設定に戻すには、RESET HUE オプションを使用してください。

●ベゼル補正

ベゼル補正は、各ディスプレイのベゼル幅分のピクセルを補正して、拡大された画面を自然に見せる機能です。

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SET UP** メニューを表示します。

- ③ ▲▼ボタンを使用して、**BEZEL CORRECTION** をハイライトします。



- ④ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押します。



- ⑤ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**CORRECTION** オプションを選択します。

ON、OFF オプションはオレンジ色にハイライトされます。



- ⑥ **Enter** スイッチを使用して、**ON**、**OFF** オプションを選択します。

- ⑦ **Enter** スイッチを押して、変更内容を実行します。現在の設定ステータスは白くハイライトされ、**H CORRECTION** と **V CORRECTION** オプションは有効になります。



- ⑧ ▲▼ボタンを使用して、**H CORRECTION** または **V CORRECTION** をハイライトします。

- ⑨ **Enter** スイッチを押して、オプションを選択します。現在の設定はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑩ ◀▶ スイッチを使用して、設定値を変更します。

- ⑪ **Enter** スイッチを押して、変更内容を実行します。



● OSD の設定

OSD の設定メニューは OSD の表示方法を設定します。

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



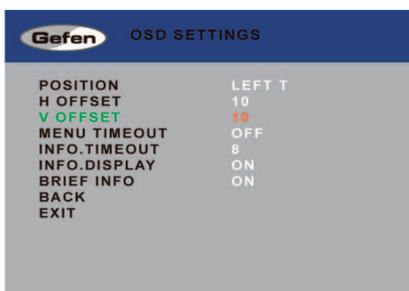
- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SET UP** メニューを表示します。

- ③ ▲▼ボタンを使用して、**POSITION** をハイライトします。



- ④ 希望の項目をハイライトしたら **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して実行します。

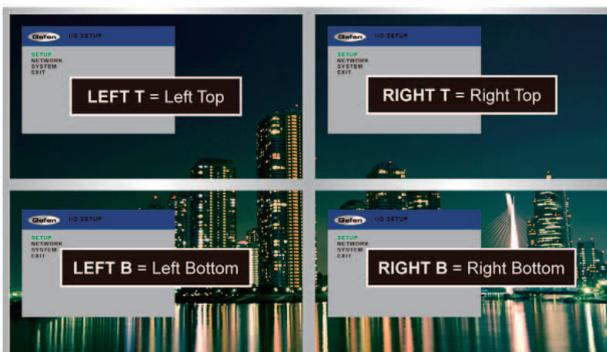
オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑤ ◀▶スイッチを使用して、値を変更します。
- ⑥ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

▼ Position

Menu ボタンを押した時に表示される OSD の場所を指定します。



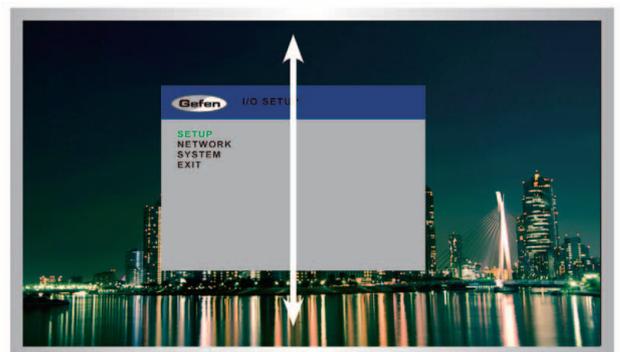
▼ H Offset

ディスプレイに表示される OSD の水平オフセットです。



▼ V Offset

ディスプレイに表示される OSD の垂直オフセットです。

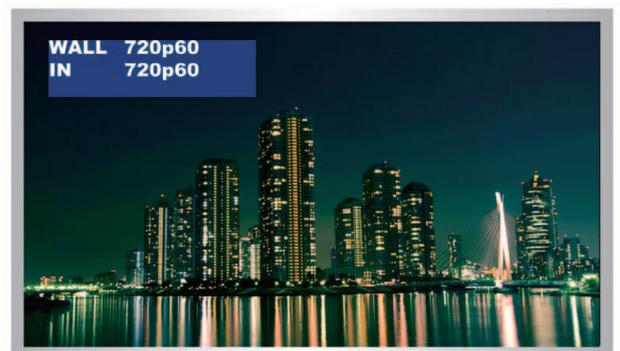


▼ Menu Timeout

Menu ボタンを押して OSD が表示されてから自動的に画面から消えるまでの時間（単位：秒）を設定します。設定が「Off」の場合、手動で Menu ボタンを押して、OSD を画面から消します。

▼ Info Timeout

デフォルト設定では、各表示機器にステータスウィンドウを表示します。ステータスウィンドウに入出力の解像度が表示されます。タイムアウトは OSD 表示が自動的に画面から消えるまでの時間です（単位：秒）。



▼ Info Display

ステータスウィンドウ表示を有効 / 無効にします、このオプションが「Off」の場合、ステータスウィンドウは表示されません。

▼ Brief Info

このオプションは「Info Display」がオンの時に表示される情報を設定します。「Info Display」がオンの場合、入出力のルーティングステータスのみが表示されます。「Info Display」がオフの場合、解像度に関する情報も表示されます。

● EDID マネージメント

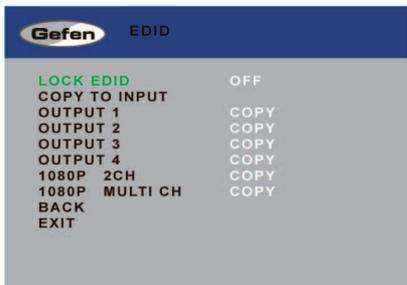
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。



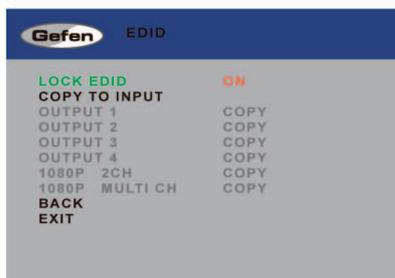
- ② 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**I/O SET UP** メニューを表示します。
- ③ ▲▼ボタンを使用して、**EDID** をハイライトします。



- ④ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**EDID** メニューを表示します。



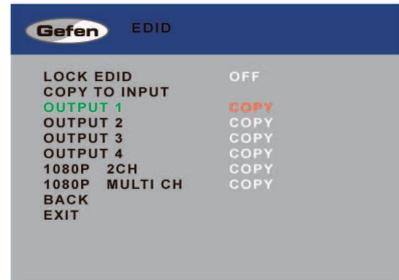
- ⑤ **Enter** スイッチを押して、**LOCK EDID** オプションを選択します。
- ⑥ ◀▶スイッチを使用して、**LOCK EDID** オプションの値を変更します。
- ⑦ **Select** ボタンを押して、変更内容を実行します。



▼ EDID の選択

- ① **LOCK EDID** オプションは必ず **OFF** に設定されていることを確認します。
- ② ▲▼ボタンを使用して、EDID をコピーする出力をハイライトします。**1080p 2 Ch** または **1080p Multi Ch EDID** も選択できます。
- EDID を選択する際に、全てのディスプレイが同じ AV 仕様をサポートすることを確認してください。

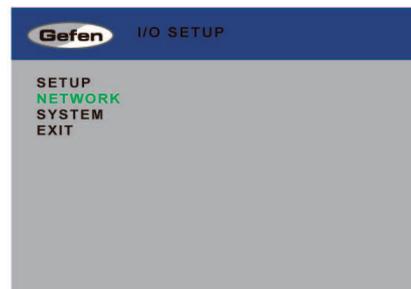
- ③ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。



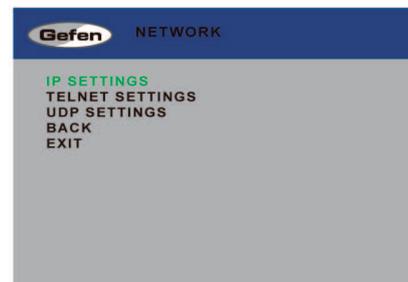
- ④ ディスプレイは一時的に点滅します。EDID は選択された出力から入力にコピーされ、全ての出力に割り当てられます。

● IP 設定の変更

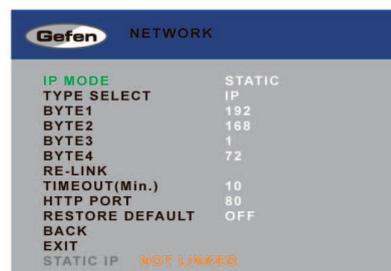
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。
- ② ▲▼ボタンを使用して、**NETWORK** オプションをハイライトします。



- ③ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**NETWORK** メニューを表示します。



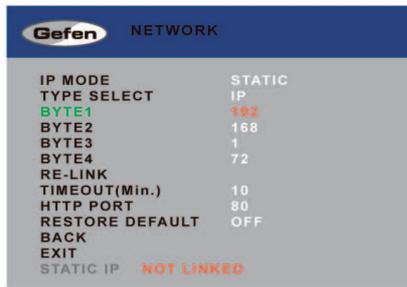
- ④ 再度 **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**IP SETTINGS** メニューを表示します。



- ⑤ ▲▼ボタンを使用して、**IP MODE** オプションをハイライトします。**IP MODE** オプションは自動的にハイライトされます。

- ⑥ 実行するオプションをハイライトしたら、**Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、オプションを選択します。

オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑦ ◀▶ スイッチを使用して、値を変更します。
- ⑧ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

▼ IP Mode

このオプションを **Static** または **DHCP** に設定します。**Static** オプションを使用する場合、IP アドレスを指定しなければなりません。**Byte 1**、**Byte 2**、**Byte 3**、**Byte 4** オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Type Select

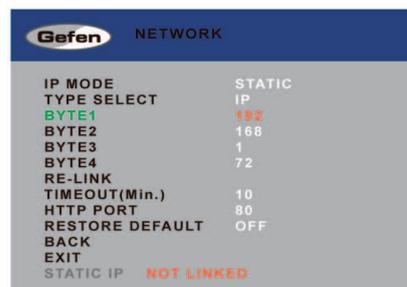
このオプションを使用して、IP アドレス (IP)、サブネットマスク (Mask) とゲートウェイ (Gate) を切り替えます。

▼ Byte

Byte 1、**Byte 2**、**Byte 3**、**Byte 4** オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Re-link

このオプションは現在の IP 設定を使用して、ネットワークに再接続します。



▼ Timeout

Re-Link オプションを使用して、現在の IP 設定でネットワークにリンクするタイムアウト期間 (単位: 秒) を設定します。

▼ HTTP Port

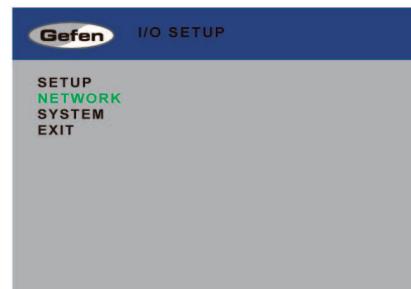
本体の HTTP リスニングポートを設定します。

▼ Restore Default

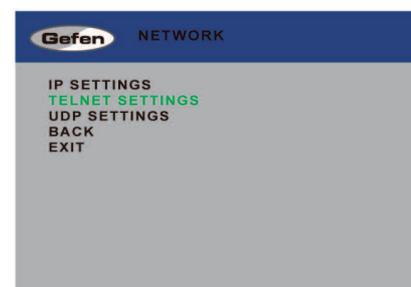
このオプションは本体のデフォルト IP 設定をリセットします。

● Telnet 設定の変更

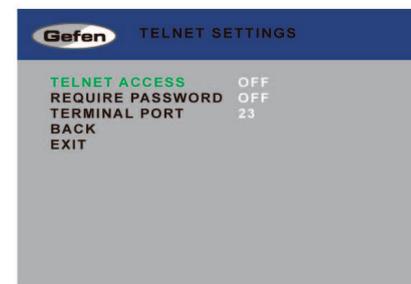
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。
- ② ▲▼ ボタンを使用して、**NETWORK** をハイライトします。



- ③ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**NETWORK** メニューを表示します。
- ④ ▲▼ ボタンを使用して **TELNET SETTINGS** を緑色にハイライトします。



- ⑤ 再度 **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**TELNET SETTINGS** メニューを表示します。



- ⑥ ▲▼ ボタンを使用して、**TELNET ACCESS** オプションをハイライトします。**TELNET ACCESS** オプションは自動的にハイライトされます。
- ⑦ 実行するオプションがハイライトされたら、**Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。
- オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑧ ◀▶ スイッチを使用して、値を変更します。
- ⑨ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

▼ Telnet Access

Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ Require Password

Telnet セッション開始前のパスワードの要求を有効 / 無効にします。

▼ Terminal Port

本体の Telnet リスニングポートを設定します。

● UDP 設定の変更

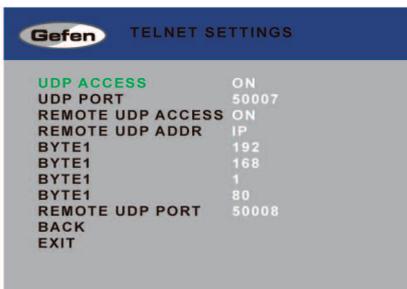
- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。
- ② ▲▼ボタンを使用して、**NETWORK** をハイライトします。



- ③ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**NETWORK** メニューを表示します。
- ④ ▲▼ボタンを使用して **UDP SETTINGS** を緑色にハイライトします。



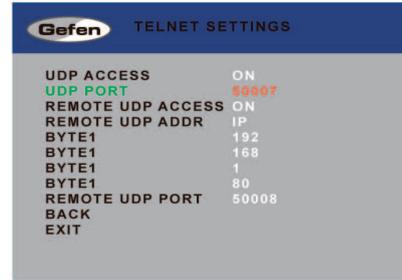
- ⑤ 再度 **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**UDP SETTINGS** メニューを表示します。



- ⑥ ▲▼ボタンを使用して、**UDP ACCESS** オプションをハイライトします。
UDP ACCESS オプションは自動的にハイライトされます。

- ⑦ 実行するオプションがハイライトされたら、**Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

オプションを選択すると、その設定値はオレンジ色にハイライトされます。



- ⑧ ◀▶ スイッチを使用して、値を変更します。
- ⑨ **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

▼ UDP Access

UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ UDP Port

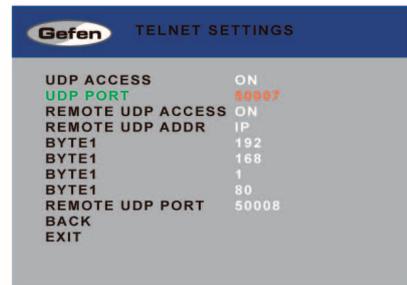
本機の UDP ポートを設定します。

▼ Remote UDP Access

本機の UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

▼ Remote UDP Addr

本機のリモート UDP IP アドレス、サブネットマスクまたはゲートウェイを切り替えます。



▼ Byte

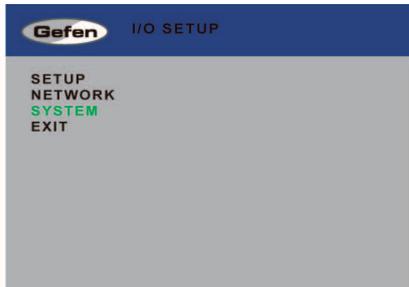
Byte 1、Byte 2、Byte 3、Byte 4 オプションを使用して、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを設定します。

▼ Remote UDP Port

本機のリモコン UDP リスニングポートを設定します。

●システム設定

- ① 前面パネルまたは IR リモコンの **Menu** ボタンを押してメニューシステムを表示します。
- ② ▲▼ボタンを使用して、**SYSTEM** をハイライトします。



- ③ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、**SYSTEM** メニューを表示します。



- ④ ▲▼ボタンを使用して、実行するオプションをハイライトします。
- ⑤ 前面パネルの **Enter** スイッチまたは IR リモコンの **OK** ボタンを押して、変更内容を実行します。

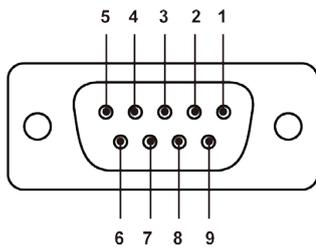
FACTORY RESET を選択すると、本体は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。

REBOOT を選択すると、本体が再起動します。

◆高度な操作

■ RS-232 と IP の構成

● RS-232 インターフェイス



▲ TXD, RXD, GND ピンのみ使用

● RS-232 の設定

説明	設定
ボーレート	19200
データビット	8
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし



Telnet または RS-232 コマンドを出力する際に、必ずキャリッジ・リターン (Od) と改行キャラクター (Oa) をコマンドの終わりに追加してください。

● IP/UDP の構成

本機は Telnet、UDP または内蔵ウェブ GUI を使用して、IP 制御をサポートします。IP 制御のセットアップは RS-232 経由で行います。以下は本機のネットワーク設定のデフォルトです。

説明	IP アドレス / ポート	説明	IP アドレス / ポート
IP アドレス	192.168.1.72	UDP ポート	23
サブネット	255.255.255.0	リモート UDP ポート	50007
ゲートウェイ	192.168.1.254	リモート UDP IP	192.168.1.255
HTTP ポート	80		

- RS-232 ケーブルを使用して、PC と本機を接続します。イーサネットケーブルを使用して本機をネットワークに接続します。
- ハイパーターミナルなどのターミナルエミュレーションアプリケーションを起動します。前項に記載されている RS-232 の設定を使用して、以下の設定を行います。



ネットワークに応じて、関連する全ての IP、Telnet と UDP の設定を正しく行う必要があります。ネットワークと正しく通信できるよう、ネットワーク管理者に確認してください。

- #set_ipadd コマンドを使用して、本機の IP アドレスを設定します。
- #set_netmask コマンドを使用して、サブネットマスクを設定します。
- #set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイ (ルーター) の IP アドレスを設定します。
- #set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定します。
- #set_http_port コマンドを使用して、HTTP リスニングポートを設定します。
- #set_udp_remote_ip コマンドを使用して、本機の UDP リモート IP アドレスを設定します。
- #set_udp_port コマンドを使用して、本機の UDP リスニングポートを設定します。
- #set_udp_remote_port コマンドを使用して、本機の UDP リモートポートを設定します。
- 本機を再起動して、行われた変更を実行します。手順③にて指定した IP アドレスをウェブブラウザに入力し、ウェブ GUI にアクセスします。同じ IP アドレスを使用して、本機との Telnet 通信を行います。

■コマンド

コマンド	説明
#display_telnet_welcome	Telnet ウェルカムメッセージの有効 / 無効を設定
#fadefault	ルーティングとマスキング設定を工場出荷時のデフォルトにリセット
#help	使用可能なコマンド一覧を表示
#lock_edid	本体の再起動時に local EDID をロック
#mute	全出力のミュートのオン / オフ設定
#power	本体電源のオン / オフ設定
#reboot	本体を再起動
#set_bezel	ベゼル補正の有効 / 無効設定
#set_brightness	全出力の輝度レベルを設定
#set_contrast	全出力のコントラストレベルを設定
#set_edid	入力またはバンクに EDID を割り当て
#set_gateway	ゲートウェイアドレスを設定
#set_hbezel	垂直ベゼル補正値を設定
#set_http_port	HTTP リスニングポートを設定
#set_hue	全出力の色合いを設定
#set_ipadd	IP アドレスを設定
#set_ipmode	IP モード (DHCP または静的) を設定
#set_netmask	サブネットマスクを設定
#set_output	出力の解像度を設定
#set_saturation	出力のサチュレーションを設定
#set_telnet_pass	Telnet のパスワードを設定
#set_telnet_port	Telnet のリスニングポートを設定
#set_udp_port	local UDP リスニングポートを設定
#set_udp_remote_ip	リモート UDP の IP アドレスを設定
#set_udp_remote_port	リモート UDP ポートを設定
#set_vbezel	垂直ベゼル補正値を設定
#show_bezel	ベゼル補正のステータスを表示
#show_brightness	全出力の輝度値を表示
#show_contrast	全出力のコントラスト値を表示
#show_gateway	ゲートウェイの IP アドレスを表示
#show_hbezel	水平ベゼル値を表示
#show_http_port	ウェブサーバーのリスニングポートを表示
#show_hue	全出力の色合い値を表示
#show_ip	本機の現在の IP アドレスを表示
#show_ipconfig	本機の現在の TCP/IP 設定を表示
#show_ipmode	現在の IP モード (DHCP または静的) を表示
#show_lock_edid	EDID のロックステータスを表示
#show_mac_addr	MAC アドレスを表示
#show_mute	音声ミュートのステータスを表示
#show_netmask	現在のサブネットマスクを表示
#show_output	出力の解像度を表示
#show_power	電源のステータスを表示
#show_saturation	出力のサチュレーション値を表示
#show_telnet_port	Telnet のリスニングポートを表示
#show_tcp_access	現在の TCP のアクセスステータスを表示
#show_udp_port	ローカルの UDP シリアルポートを表示
#show_udp_remote_ip	リモート UDP IP アドレスを表示
#show_udp_remote_port	リモート UDP ポートを表示
#set_vbezel	垂直ベゼル値を表示
#show_ver_data	ハードウェアとソフトウェアバージョンを表示
#use_tcp_access	Telnet アクセスの有効 / 無効を設定
#use_telnet_pass	Telnet セッションにパスワード認証を強要
#use_udp_access	UDP アクセスの有効 / 無効を設定

● #display_telnet_welcome

#display_telnet_welcome コマンドは、Telnet ウェルカムメッセージの有効 / 無効を設定します。

構文.....#display_telnet_welcome param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	ウェルカムメッセージを無効にする。
1	ウェルカムメッセージを有効にする。

構文例.....#display_telnet_welcome 1

Telnet ウェルカムメッセージは有効です

この設定が有効のときに Telnet セッションを開始すると、以下のメッセージが表示されます：

Welcome to EXT-HD-VWC-144 TELNET

● #fadefault

#fadefault コマンドは本機を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。出力のマスキングは解除され、全ての IP と UDP 設定はデフォルト設定にリセットされます。

構文.....#fadefault

パラメーターなし

構文例.....#fadefault

```
UNIT IS SET TO FACTORY DEFAULTS!!
EXT-HD-VWC-144 v1.17
IP: 192.168.1.72
Netmask: 255.255.255.0
Gateway: 192.168.1.1
```

● #help

#help コマンドは使用可能な RS-232/Telnet コマンドを表示します。param1 を使用すると、特定のコマンドのヘルプ情報が表示されます。

構文.....#help param1

パラメーターparam1 コマンド名 (オプション)

構文例.....#help #sipadd

```
#SIPADD PARAM 1
SET THE IP ADDRESS
PARAM 1 = XXX.XXX.XXX.XXX
WHERE XXX: 0 - 255
```

● #lock_edid

#lock_edid コマンドは、本体の電源オン時にダウンストリーム EDID の自動読み込み機能を無効にして、Local EDID を固定します。

構文.....#lock_edid param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	EDID ロックを解除する。
1	Lock EDID をロックする。

構文例.....#lock_edid 0

```
EDID ロックを解除します。
#lock_edid 1
EDID をロックします。
```

● #mute

#mute コマンドはオーディオ信号のミュート設定をオン / オフします。

構文.....#mute param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	無効
1	有効

構文例.....#mute 1

```
オーディオ信号をミュートします。
#mute 0
オーディオ信号をミュートしません。
```

● #power

#power コマンドは本機の電源をオン / オフします。

構文.....#power param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	オフ
1	オン

構文例.....#power 0

```
電源をオフにします。
#power 1
電源をオンにします。
```

● #reboot

#reboot コマンドは本機を再起動します。このコマンドは、本体背面にある電源コードを挿し直すのと同様です。IP の設定を変更した場合は必ず本機を再起動してください。

構文.....#reboot

パラメーターなし

構文例.....#reboot

```
--> EXT-HD-VWC-144 v1.8 NET <--
```

● #set_bezel

#set_bezel コマンドはベゼル補正機能を有効 / 無効にします。

構文.....#set_bezel param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	オフ (有効)
1	オン (無効)

構文例.....#set_bezel 1

ベゼル補正機能を有効にします。

● #set_brightness

#set_brightness コマンドは出力のビデオ信号の輝度レベルを設定します。param1 = 0 の場合、全出力は特定された輝度のレベルに設定されます。

構文.....#set_brightness param1 param2

パラメーターparam1 出力 [0 ... 4]

param2 レベル [0 ... 100]

構文例.....#set_brightness 1 65

出力 1 の輝度レベルを 65 に設定します。

```
#set_brightness 0 50
```

全ての出力の輝度レベルを 50 に設定します。

● #set_contrast

#set_contrast コマンドは出力ビデオ信号のコントラストレベルを設定します。param1 = 0 の場合、全出力は特定のコントラストレベルに設定されます。

構文.....#set_contrast param1 param2

パラメーターparam1 出力 [0 ... 4]

param2 レベル [0 ... 100]

構文例.....#set_contrast 2 74

出力 2 のコントラストレベルを 74 に設定します。

```
#set_contrast 0 50
```

全ての出力のコントラストレベルを 50 に設定します。

● #set_edid

#set_edid コマンドは入力またはバンクに EDID の種類を指定します。

構文.....#set_edid param1 param2 param3 param4

パラメーター▼ param1 ソース機器 [STRING]

ソース機器	説明
Int	デフォルト (内部) EDID を使用する。
Bank	EDID バンクを使用する。
Output	出力 (シンク機器) の EDID を使用する。

▼ param2 ソース機器 [1 ... 8]

ソース機器	説明
1 ... 4	1 = 720p / 2CH 2 = 720p / マルチチャンネル 3 = 1080p / 2CH 4 = 1080p / マルチチャンネル
1 ... 8	EDID バンク
1 ... 4	出力

▼ param3 対象 [STRING]

対象	説明
入力	入力を指定する。
バンク	EDID バンクを指定する。

▼ param4 対象 [1 ... 8]

値	説明
1 ... 4	入力
1 ... 8	EDID バンク

構文例.....#set_edid int 2 input 4

内部 EDID2 を入力 4 に保存します。

#set_edid bank 3 bank 5

EDID Bank3 を Bank5 に保存します。

● #set_gateway

#set_gateway コマンドはゲートウェイアドレスを設定します。ゲートウェイアドレスを設定する際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、ゲートウェイのデフォルト設定は 192.168.1.1 です。

構文.....#set_gateway param1

パラメーターparam1 ゲートウェイ

構文例.....#set_gateway 192.168.1.5

GATEWAY : 192.168.1.11

● #set_hbezel

#set_hbezel コマンドは水平ベゼル補正值を設定します。

構文.....#set_hbezel param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 254]

構文例.....#set_hbezel 13

水平ベゼル補正值を 13 に設定します。

※ 最大水平ベゼル補正值は出力の解像度によって異なります。詳しくは下表をご参照ください。

解像度	水平ベゼル (最大)	解像度	水平ベゼル (最大)
480p	60	1280 × 800	200
576i	68	1280 × 1024	248
720p50	220	1366 × 768	213
720p60	220	1440 × 900	232
1080p24	148	1600 × 900	96
1080p50	148	1600 × 1200	254
1080p60	148	1680 × 1050	254
1024 × 768	160	1920 × 1200	80

● #set_http_port

#set_http_port コマンドはウェブサーバーのリスニングポートを指定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、デフォルトポートは 80 です。#show_http_port コマンドを使用して、現在の HTTP リスニングポートを表示します。

構文.....#set_http_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_http_port 82

HTTP COMMUNICATION PORT 82 IS SET. PLEASE REBOOT THE UNIT.

● #set_hue

#set_hue コマンドは出力の色合いを設定します。param1 = 0 の場合、全出力は特定の色合いレベルに設定されます。

構文.....#set_hue param1

パラメーターparam1 Value [0 ... 100]

構文例.....#set_hue 1 30

出力 1 の色合いレベルを 30 に設定します。

#set_hue 0 45

全出力の色合いレベルを 45 に設定します。

● #set_ipadd

#set_ipadd コマンドは本体の IP アドレスを設定します。IP アドレスを設定する際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、IP アドレスのデフォルト設定は 192.168.1.72 です。#show_ipconfig コマンドを使用して、現在の IP アドレスを表示します。

構文.....#set_ipadd param1

パラメーターparam1 IP アドレス

構文例.....#set_ipadd 192.168.1.190

IP ADDRESS : 192.168.1.190

● #set_ipmode

#set_ipmode コマンドは IP モードを DHCP または静的 (static) に設定します。

構文.....#set_ipmode param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	静的
1	DHCP

構文例.....#set_ipmode 1

IP モードを DHCP に設定します。

● #set_netmask

#set_netmask コマンドはサブネットマスクを設定します。サブネットマスクを設定する際は必ずドットを使用してください。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。なお、サブネットマスクのデフォルト設定は 255.255.255.0 です。## または ## コマンドを使用して、現在のサブネットマスクを表示します。

構文.....#set_netmask param1

パラメーターparam1 サブネットマスク

構文例.....#set_netmask 255.255.255.0

NETMASK : 255.255.255.0

● #set_output

#set_output コマンドは出力の解像度を設定します。指定した解像度は全出力に適用されます。#show_output コマンドを使用すると、現在の出力の解像度を確認できます。

構文.....#set_output param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 16]

値	説明
0	480p
1	576p
2	720p@50 Hz
3	720p@60 Hz
4	1080p@24 Hz
5	1080p@50 Hz
6	1080p@60 Hz
7	1024 × 768
8	1280 × 800
9	1280 × 1024
10	1366 × 768
11	1440 × 900
12	1600 × 900
13	1600 × 1200
14	1680 × 1050
15	1920 × 1200
16	ネイティブ

構文例.....#set_output 3

出力解像度を 720p@60 Hz に設定します。

● #set_saturation

#set_saturation コマンドは全出力のカラーサチュレーションレベルを設定します。param1 = 0 の場合、全出力は特定のサチュレーションレベルに設定されます。

構文.....#set_saturation param1 param2

パラメーターparam1 出力 [0 ... 4]

param2 レベル [0 ... 100]

構文例.....#set_saturation 3 65

出力 3 のサチュレーションレベルを 65 に設定します。

#set_saturation 0 50

全出力のサチュレーションレベルを 50 に設定します。

● #set_telnet_pass

#set_telnet_pass コマンドは Telnet のパスワードを設定します。パスワードは最大 10 桁です。

構文.....#set_telnet_pass param1

パラメーターparam1 パスワード [STRING]

構文例.....#set_telnet_pass bossman

Telnet パスワードを bossman に設定します。

● #set_telnet_port

#set_telnet_port コマンドは Telnet リスニングポートを設定します。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。ポートのデフォルト設定は 23 です。#show_telnet_port コマンドを使用して、現在の Telnet リスニングポートを表示します。

構文.....#set_telnet_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_telnet_port 24

TELNET COMMUNICATION PORT 24 IS SET.
PLEASE REBOOT THE UNIT.

● #set_udp_port

#set_udp_port コマンドはローカル UDP サーバーのリスニングポートを設定します。ポートのデフォルト設定は 21 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。#show_udp_port コマンドを使用して、現在のローカル UDP リスニングポートを表示します。

構文.....#set_udp_port param1

パラメーターparam1 ポート [1 ... 1024]

構文例.....#set_udp_port 56

UDP サーバーのリスニングポートを 56 に設定します。

● #set_udp_remote_ip

#set_udp_remote_ip コマンドはリモート UDP の IP アドレスを設定します。IP アドレスを設定する際に必ずドットを使用してください。リモート UDP の IP アドレスのデフォルト IP アドレスは 92.168.1.255 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。#show_udp_remote_ip コマンドを使用して、現在のリモート UDP の IP アドレスを表示します。

構文.....#set_udp_remote_ip param1

パラメーターparam1 UDP アドレス

構文例.....#set_udp_remote_ip 192.168.1.227

リモート UDP アドレスを 192.168.1.227 にセットします。

● #set_udp_remote_port

#set_udp_remote_port コマンドはリモート UDP リスニングポートを設定します。リモート UDP リスニングポートのデフォルトは 50008 です。コマンドの実行後は必ず本体を再起動してください。

構文.....#set_udp_remote_port param1

パラメーターparam1 ポート [0 ... 65535]

構文例.....#set_udp_remote_port 50008

リモート UDP リスニングポートを 50008 にセットします。

● #set_vbezel

#set_vbezel コマンドは垂直ベゼル補正値を設定します。

構文.....#set_vbezel param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 23]

構文例.....#set_vbezel 10

垂直ベゼル補正値を 10 に設定します。

※ 最大垂直ベゼル補正値は出力の解像度によって異なります。詳しくは下表をご参照ください。

解像度	垂直ベゼル (最大)	解像度	垂直ベゼル (最大)
480p	40	1280 x 800	16
576i	34	1280 x 1024	35
720p50	15	1366 x 768	21
720p60	15	1440 x 900	19
1080p24	31	1600 x 900	93
1080p50	31	1600 x 1200	43
1080p60	31	1680 x 1050	24
1024 x 768	23	1920 x 1200	20

● #show_bezel

#show_bezel コマンドは現在のベゼル補正ステータスを表示します。

構文.....#show_bezel

パラメーターなし

構文例.....#show_bezel

BEZEL CORRECTION MODE IS ON

● #show_brightness

#show_brightness コマンドは特定の出力の輝度レベルを表示します。

構文.....#show_brightness param1

パラメーターparam1 出力

構文例.....#show_brightness 2
OUTPUT 2 IS SET TO BRIGHTNESS VALUE 50

● #show_contrast

#show_contrast コマンドは全出力のコントラストレベルを表示します。

構文.....#show_contrast param1

パラメーターparam1 Output

構文例.....#show_contrast 2
num=2
OUTPUT 2 IS SET TO CONTRAST VALUE 50

● #show_gateway

#show_gateway コマンドは現在の本体のゲートウェイアドレスを表示します。#set_gateway コマンドを使用して、ゲートウェイアドレスを設定できます。

構文.....#show_gateway

パラメーターなし

構文例.....#show_gateway
GATEWAY ADDRESS IS: 192.168.1.5

● #show_hbezel

#show_hbezel コマンドは水平ベゼル値を表示します。#set_hbezel コマンドを使用して、水平ベゼル値を設定できます。

構文.....#show_hbezel

パラメーターなし

構文例.....#show_hbezel
HORIZONTAL BEZEL CORRECTION VALUE IS 13

● #show_http_port

#show_http_port コマンドは本体のHTTPリスニングポートを表示します。#set_http_port コマンドを使用して、HTTPリスニングポートを設定します。

構文.....#show_http_port

パラメーターなし

構文例.....#show_http_port
HTTP COMMUNICATION PORT IS: 82

● #show_hue

#show_hue コマンドは全出力の色合いの設定を表示します。

構文.....#show_hue param1

パラメーターparam1 出力

構文例.....#show_hue 1
OUTPUT 1 IS SET TO HUE VALUE 45

● #show_ip

#show_ip コマンドは本体に設定しているIPアドレスを表示します。#sipadd コマンドを使用して、IPアドレスを設定できます。

構文.....#show_ip

パラメーターなし

構文例.....#show_ip
IP ADDRESS IS: 192.168.1.239

● #show_ipconfig

#show_ipconfig コマンドは現在のTCP/IPの設定を表示します。

構文.....#show_ipconfig

パラメーターなし

構文例.....#show_ipconfig
IP CONFIGURATION IS :
IP: 192.168.2.84
NETMASK: 255.255.255.0
GATEWAY: 192.168.2.1
MAC ADDRESS: 00:1c:91:03:b0:19

● #show_ipmode

#show_ipmode コマンドは現在のIPモードを表示します。#set_ipmode コマンドを使用して、IPモードを設定できます。

構文.....#show_ipmode

パラメーターなし

構文例.....#show_ipmode
IP MODE SET TO DHCP

● #show_lock_edid

#show_lock_edid コマンドは現在のEDIDのロックステータスを表示します。#lock_edid コマンドを使用して、EDIDをロック/ロック解除できます。

構文.....#show_lock_edid

パラメーターなし

構文例.....#show_lock_edid
EDID IS UNLOCKED

● #show_mac_addr

#show_mac_addr コマンドは本体のMACアドレスを表示します。

構文.....#show_mac_addr

パラメーターなし

構文例.....#show_mac_addr
MAC ADDRESS IS: 00:1c:91:03:b0:19

● #show_mute

#show_mute コマンドは現在のオーディオミュートのステータスを表示します。#mute コマンドを使用して、ミュート/ミュート解除します。

構文.....#show_mute

パラメーターなし

構文例.....#show_mute
AUDIO IS UNMUTE

● #show_netmask

#show_netmask コマンドは現在のマスク設定を表示します。

#set_netmask コマンドを使用して、ネットマスクを設定できます。

構文.....#show_netmask

パラメーターなし

構文例.....#show_netmask
NETMASK ADDRESS IS: 255.255.255.0

● #show_output

#show_output コマンドは現在の出力解像度を表示します。#set_output コマンドを使用して、出力の解像度を設定できます。

構文.....#show_output

パラメーターなし

構文例.....#show_output
OUTPUT RESOLUTION IS SET TO: 1280x720p 60Hz

● #show_power

#show_power コマンドは現在の電源ステータスを表示します。#power コマンドを使用して、本体の電源をオン/オフできます。

構文.....#show_power

パラメーターなし

構文例.....#show_power
POWER IS ON

● #show_saturation

#show_saturation コマンドは全出力のサチュレーションを表示します。#set_saturation コマンドを使用して、出力の解像度を設定できます。

構文.....#show_saturation param1

パラメーターparam1 入力

構文例.....#show_saturation 2
OUTPUT 2 IS SET TO SATURATION VALUE 50

● #show_telnet_port

#show_telnet_port コマンドは現在の Telnet ポートを表示します。#set_telnet_port コマンドを使用して、Telnet リスニングポートを設定できます。

構文.....#show_telnet_port

パラメーターなし

構文例.....#show_telnet_port
TELNET COMMUNICATION PORT IS: 23

● #show_tcp_access

#show_tcp_access コマンドは現在の TCP へのアクセスステータス（有効 / 無効）を表示します。#set_tcp_access コマンドを使用して、TCP へのアクセスを有効 / 無効にできます。

構文.....#show_saturation param1

パラメーターparam1 出力

構文例.....#show_saturation 2
OUTPUT 2 IS SET TO SATURATION VALUE 50

● #show_udp_port

#show_udp_port コマンドは現在の UDP シリアルポートを表示します。#set_udp_port コマンドを使用して、UDP リスニングポートを設定できます。

構文.....#show_udp_port

パラメーターなし

構文例.....#show_udp_port
REMOTE UDP COMMUNICATION PORT IS: 56

● #show_udp_remote_ip

#show_udp_remote_ip コマンドは現在のリモコン UDP アドレスを表示します。#set_udp_remote_ip コマンドを使用して、リモコン UDP アドレスを設定できます。

構文.....#show_udp_remote_ip

パラメーターなし

構文例.....#show_udp_remote_ip
UDP REMOTE ADDRESS IS: 192.168.1.17

● #show_udp_remote_port

#show_udp_remote_port コマンドは現在のリモート UDP ポートを表示します。#set_udp_remote_port コマンドを使用して、リモート UDP ポートを設定できます。

構文.....#show_udp_remote_port

パラメーターなし

構文例.....#show_udp_remote_port
REMOTE UDP COMMUNICATION PORT IS: 56

● #show_vbezel

#show_vbezel コマンドは現在の垂直ベゼル補正値を表示します。#set_vbezel コマンドを使用して、垂直ベゼル補正値を設定します。

構文.....#show_vbezel

パラメーターなし

構文例.....#show_vbezel
VERTICAL BEZEL CORRECTION VALUE IS 10

● #show_ver_data

#show_ver_data コマンドは現在のソフトウェアとハードウェアバージョンを表示します。

構文.....#show_ver_data

パラメーターなし

構文例.....#show_ver_data
SOFTWARE AND HARDWARE VERSION: v1.8

● #use_tcp_access

#use_tcp_access コマンドは Telnet へのアクセスを有効 / 無効にします。#show_tcp_access コマンドを使用して、現在の TCP アクセスステータスを表示します。

構文.....#sipadd param1

パラメーターparam1 IP アドレス

構文例.....#sipadd 192.168.2.190
IP アドレスを 192.168.2.190 にセットします。

● #use_telnet_pass

Telnet セッションにパスワード認証を強要します。デフォルト設定は無効です。#set_telnet_pass コマンドを使用して、Telnet パスワードを設定できます。

構文.....#use_telnet_pass param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	パスワードを無効にする。
1	パスワードを有効にする。

構文例.....#use_telnet_pass 1
Telnet セッションにパスワードを設定します。

#use_telnet_pass 0
Telnet セッションのパスワードを無効にします。

● #use_udp_access

#use_udp_access コマンドは UDP へのアクセスを有効 / 無効にします。

構文.....#use_udp_access param1

パラメーターparam1 値 [0 ... 1]

値	説明
0	UDP へのアクセスを無効にする。
1	UDP へのアクセスを有効にする。

構文例.....#use_udp_access 1
UDP アクセスは有効です。

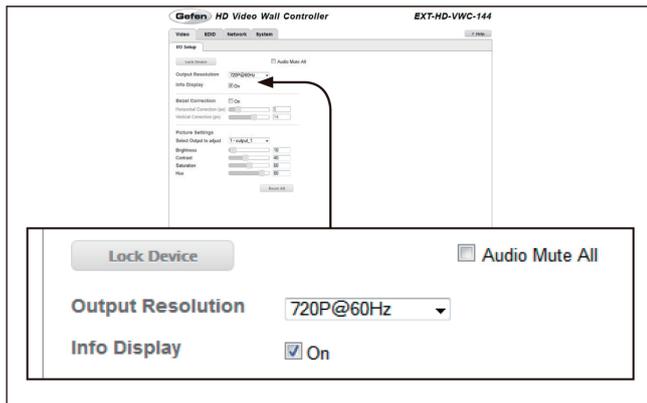
■ウェブインターフェイス

●内蔵ウェブインターフェイスの使用

本体の IP アドレスを入力して、内蔵ウェブインターフェイス にアクセスします。詳しくは 18 ページの「●IP/UDP の構成」の手順③を参照してください。本機に接続すると、ログイン画面が表示されます。

ウェブインターフェイス は Video、EDID、Network、System の 4 ページで構成されています。画面上部のタブをクリックして、各メインページを開きます。Video、EDID、Network ページには、固有のサブタブがあります。

● Video ⇒ I/O Setup

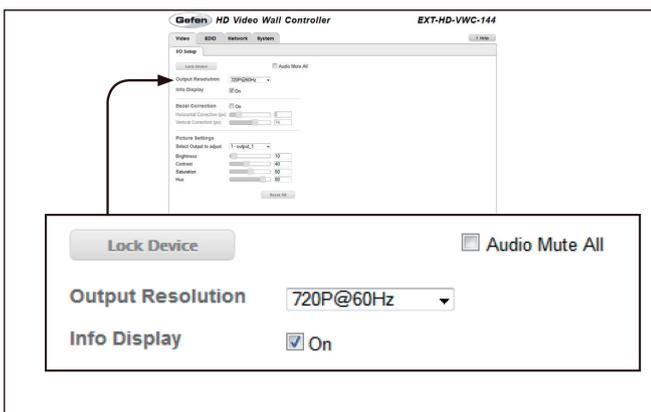
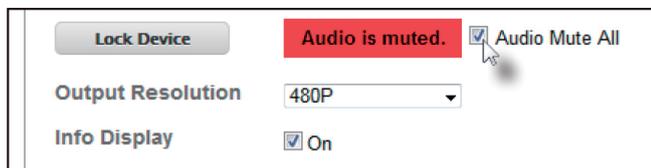


▼ Lock Device

今後のソフトウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Audio Mute All

全出力のオーディオをミュートします。ミュート中はメッセージ「Audio is muted.」が表示されます。チェックボックスを外すとミュートは解除されます。なお、工場出荷時のデフォルト設定は「disabled(ミュート無効)」です。



▼ Output Resolution

ドロップダウンリストから出力の解像度を選択します。選択可能な解像度は以下のとおりです。

オプション		
480p	1080p @ 60 Hz	1600 x 900
576p	1024 x 768	1600 x 1200
720p @ 50 Hz	1280 x 800	1680 x 1050
720p @ 60 Hz	1280 x 1024	1920 x 1200
1080p @ 24 Hz	1366 x 768	ネイティブ (出力)
1080p @ 50 Hz	1440 x 900	

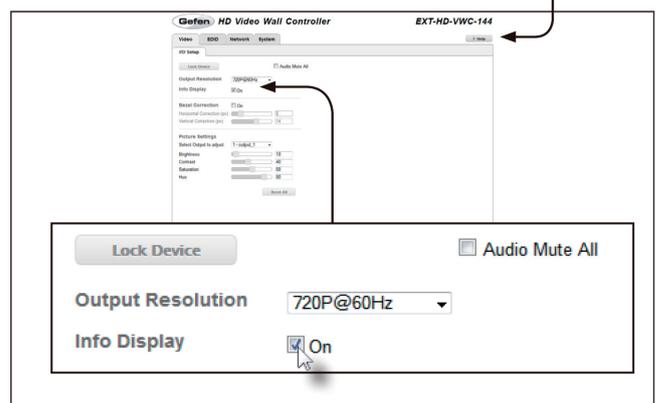
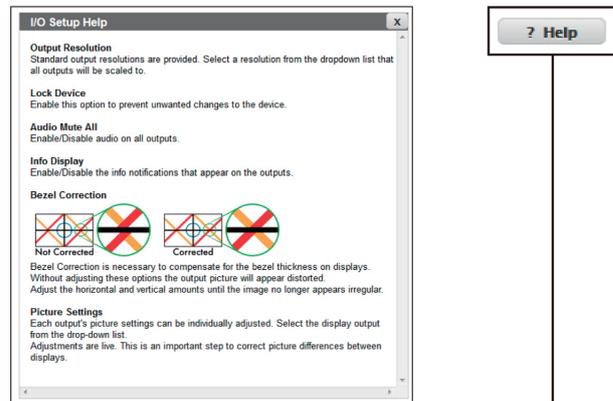
▼ Help

クリックするとコンテキストに応じたヘルプ情報が表示されます。このボタンは全ページにあります。

▼ Info Display

チェックボックスをチェックすると、出力への通告は有効になります。チェックボックスを外すと無効になります。なお、工場出荷時のデフォルト設定は「enabled(有効)」です。

Video > I/O Setup ページのヘルプ:

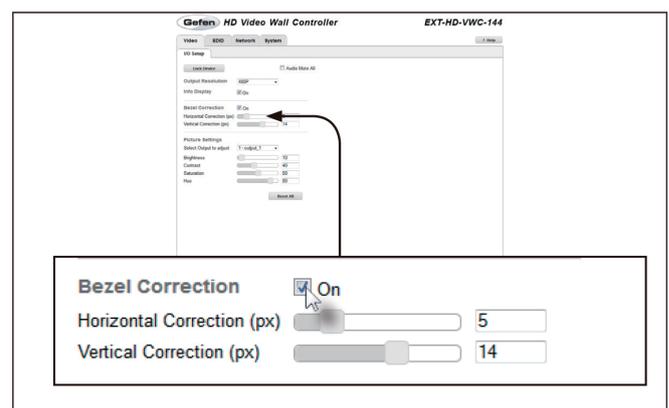


▼ Bezel Correction

チェックボックスをチェックすると、ベゼル補正は有効になります。ベゼル補正が有効の場合、本機は指定された水平と垂直の設定値を使用します。なお、工場出荷時のデフォルト設定は「disabled(無効)」です。

オプション	範囲
水平補正	0 ... 23
垂直補正	0 ... 23

ベゼル補正は、各ディスプレイのベゼル幅分のピクセルを隠蔽し、拡大された画面を自然に見せる機能です。調整を加えなければ、画像に歪みが生じることがあります。



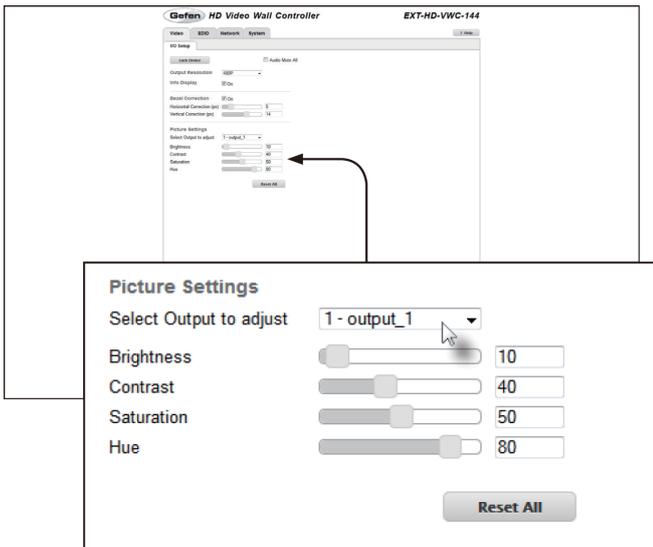
以下の例は、4 台のディスプレイで合わせた画像を、ベゼル補正機能を使って均等かつ正しく表示されるように調整しています。



▼ Select Output to adjust

ドロップダウンリストから調整する出力を選択します。各ディスプレイの輝度、コントラスト、サチュレーションと色合いはそれぞれ単独に調整することが可能です。

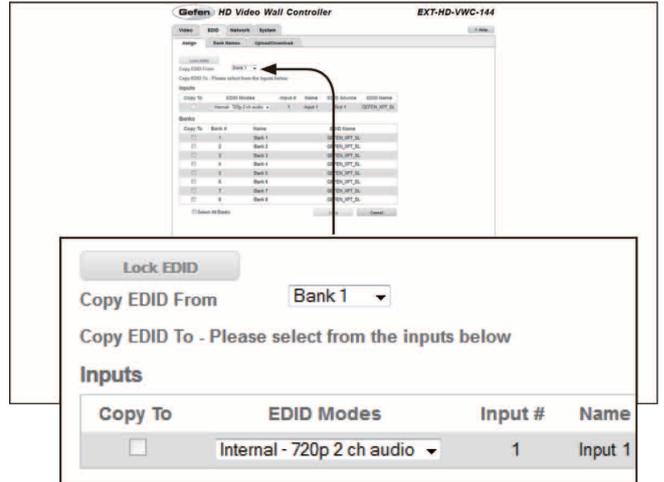
画質の設定	範囲
Brightness	0 ... 100
Contrast	0 ... 100
Saturation	0 ... 100
Hue	0 ... 100



▼ Reset All

全ての入出力の構成を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

● EDID ⇒ Assign



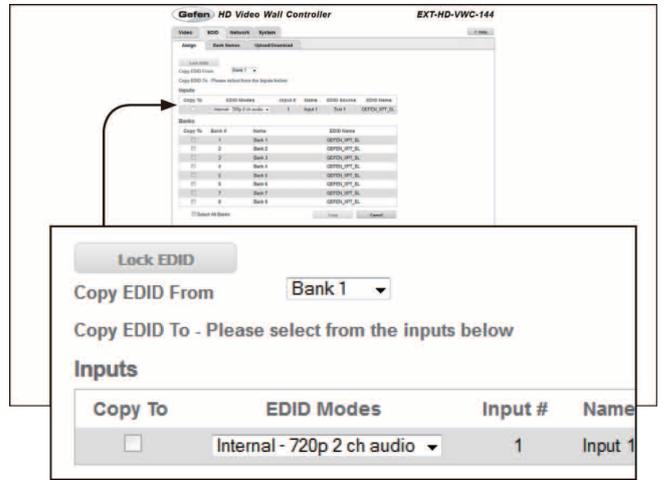
▼ Lock EDID

今後のソフトウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Copy EDID From

ドロップダウンリストから EDID を選択します。EDID は出力からコピーされます。もしくは EDID バンクから選択します。

オプション
720p 2 ch audio
720p Multi ch
1080p 2 ch audio
1080p Multi ch
Bank 1 ... Bank 8
Output_1 ... Output_4



▼ Copy EDID To (Inputs)

チェックボックスをチェックして、「Copy EDID From」 ドロップダウンリストから EDID を入力にコピーします。

オプション
Internal - 720p 2 ch audio
Internal - 720p Multi ch
Internal - 1080p 2 ch audio
Internal - 1080p Multi ch
External - Output
Custom - User

Copy To	Bank #	Name
<input type="checkbox"/>	1	Bank 1
<input type="checkbox"/>	2	Bank 2
<input type="checkbox"/>	3	Bank 3
<input type="checkbox"/>	4	Bank 4
<input type="checkbox"/>	5	Bank 5
<input type="checkbox"/>	6	Bank 6
<input type="checkbox"/>	7	Bank 7
<input type="checkbox"/>	8	Bank 8

Select All Banks

▼ Copy EDID To (Banks)

チェックボックスをチェックして、EDIDバンクの選択を有効/無効にします。

Select All Banks

Copy Cancel

▼ Select All Banks

チェックボックスをチェックすると、全ての EDID バンクが選択されます。チェックボックスを外すと選択は解除されます。

▼ Copy

クリックして、EDID コピーを実行します。

▼ Cancel

現在の操作や変更を取り消します（変更を行った場合）。

● EDID ⇒ Bank Names

Bank #	Name
1	Bank 1
2	Bank 2
3	Bank 3
4	Bank 4
5	Bank 5
6	Bank 6
7	Bank 7
8	Bank 8

Save Cancel

▼ Bank

EDID バンク番号を表示します。

▼ Name

フィールドに EDID バンク名を入力します。

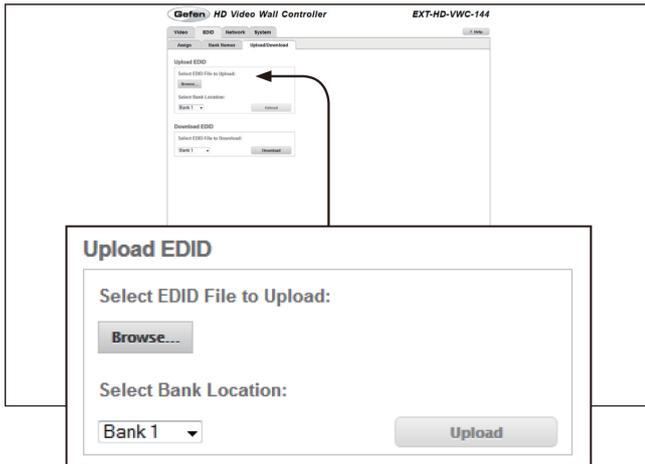
▼ Save

現在の EDID バンク名を保存します。

▼ Cancel

直前のバンク名をリストアします（バンク名の変更を行った場合）。

● EDID ⇒ Upload / Download



▼ Browse...

クリックして、アップロードする EDID ファイルを選択します。

▼ Select Bank Location

ドロップダウンリストをクリックして、EDID がアップロードされるバンクを選択します。

オプション
Bank 1 ... Bank 8

▼ Upload

ボタンをクリックして、指定されたバンクに EDID をアップロードします。



▼ Select EDID File to Download

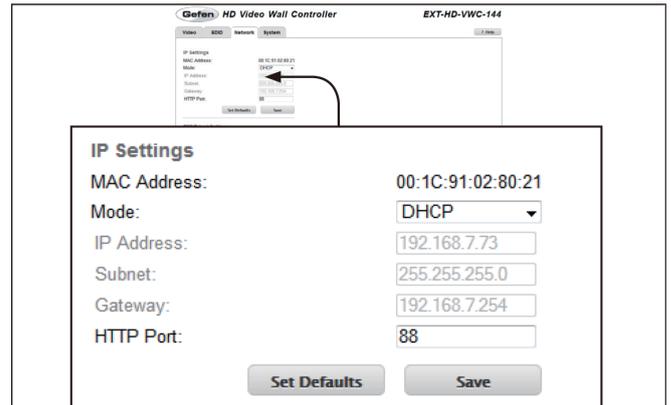
ドロップダウンリストで、EDID がアップロードされるバンクを選択します。

オプション
Bank 1 ... Bank 8
A - out0Name ... D - out3Name
1 - inputname

▼ Download

クリックして、選択された EDID をファイルにダウンロードします。

● Network



▼ MAC Address

本体の MAC アドレスを表します。なお、MAC アドレスは変更できません。

▼ Mode

ドロップダウンリストで、IP モードを選択します。IP アドレス、サブネットとゲートウェイを変更するには、IP モードを「Static」に設定する必要があります。

オプション
DHCP
Static

▼ IP Address

フィールドに本機の IP アドレスを入力します。

▼ Subnet

フィールドに本機のサブネットマスクを入力します。

▼ Gateway

フィールドに本機のゲートウェイアドレスを入力します。

▼ HTTP Port

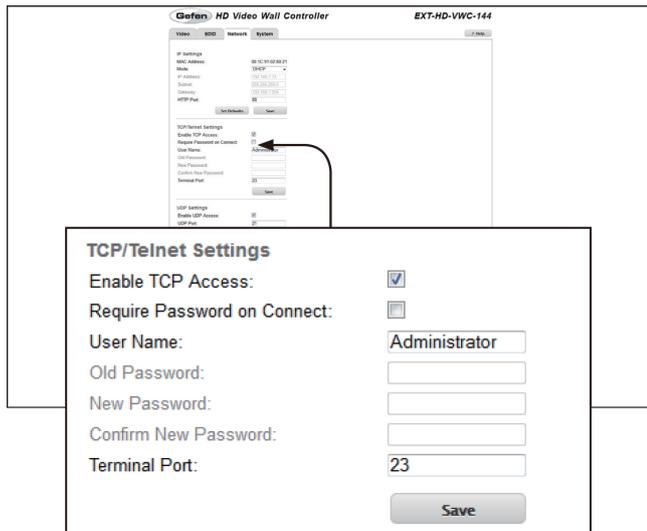
フィールドに HTTP リスニングポートを入力します。

▼ Set Defaults

工場出荷時のデフォルト IP 設定をリストアします。ボタンをクリックすると、ウェブインターフェイスに本機を再起動するダイアログが表示されます。行われた変更を実行するには、再起動が必須です。

▼ Save

現在の IP 設定を保存します。ボタンをクリックすると、ウェブインターフェイスに本体を再起動するダイアログが表示されます。行われた変更を実行するには、再起動が必須です。



▼ Enable TCP Access

チェックボックスをチェックすると、TCP にアクセス可能になります。

▼ Require Password on Connect

チェックボックスをチェックすると、Telnet セッションの開始時にパスワードを要求するように設定します。チェックボックスをクリアすると、パスワードの要求は解除されます。Telnet ユーザー名とパスワードを変更するには、このチェックボックスをチェックする必要があります。

▼ User Name

フィールドにユーザー名を入力します。

▼ Old Password

フィールドに現在のパスワードを入力します。

▼ New Password

フィールドに新しいパスワードを入力します。

▼ Confirm New Password

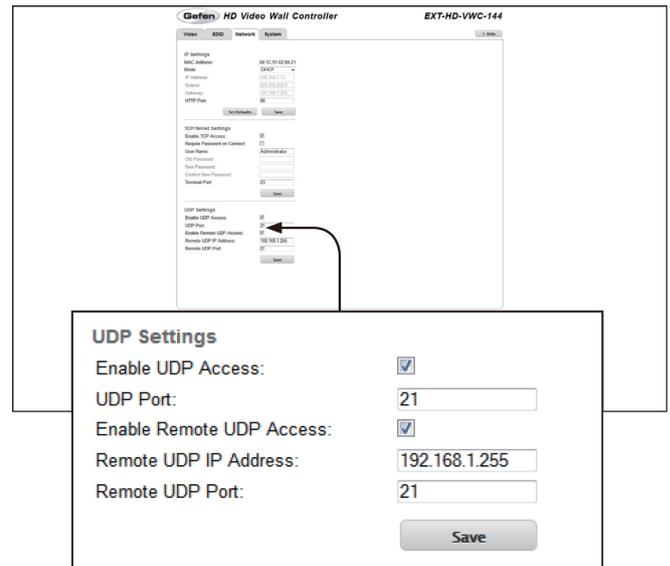
フィールドに新しいパスワードを再入力します。

▼ Terminal Port

フィールドに Telnet リスニングポートを入力します。

▼ Save

行われた変更を「TCP/Telnet Settings」に保存します。



▼ Enable UDP Access

チェックボックスをチェックすると、UDP にアクセス可能になります。

▼ UDP Port

フィールドに UDP ポートを入力します。

▼ Enable Remote UDP Access

チェックボックスをチェックすると、リモート UDP にアクセスが可能になります。

▼ Remote UDP IP Address

フィールドにリモート UDP IP アドレスを入力します。

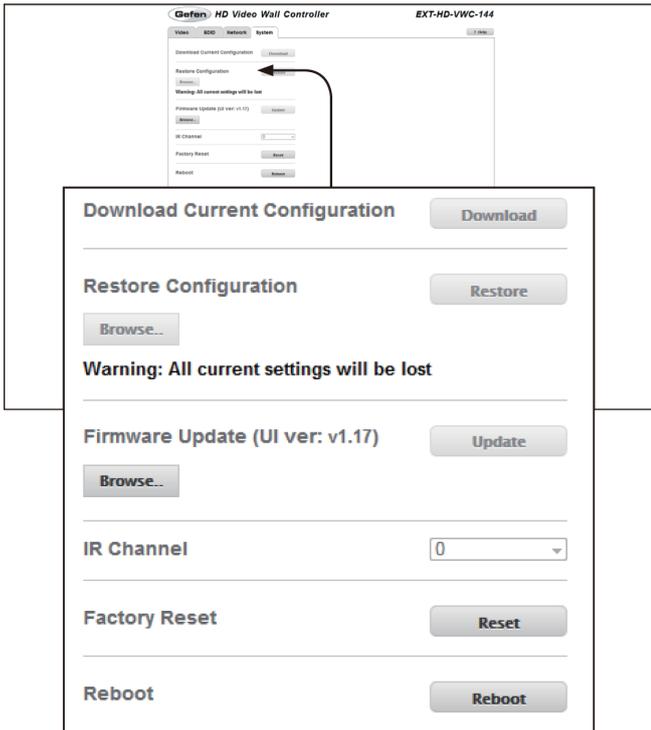
▼ Remote UDP Port

フィールドにリモート UDP ポートを入力します。

▼ Save

行われた変更を「UDP Settings」に保存します。

● System



▼ Download

今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Browse... (Restore Configuration)

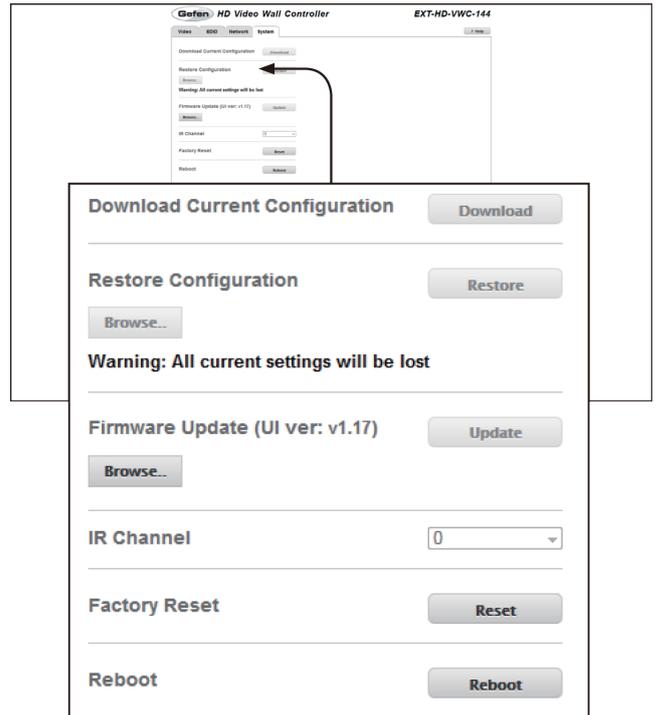
今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Restore

今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Browse... (Firmware Update)

今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。



▼ IR Channel

今後のファームウェアリリースで対応予定の機能です。

▼ Reset

ボタンをクリックして、本機を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。なお、TCP/IP 設定は保存されます。

▼ Reboot

本機を再起動します。

◆付録

■ファームウェアのアップグレード



重要：ファームウェアアップグレード中は HD ビデオウォールコントローラーの電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

●ウェブインターフェイスを使用

- ① Gefen ウェブサイトからファームウェアをダウンロードします。
- ② ZIP ファイルを解凍し、ファームウェアファイルを取り出します。
- ③ 本機の電源を入れます。
- ④ イーサネットケーブルを使用して、本体とウェブインターフェイスを起動するコンピュータを接続します。

※アップグレード作業中はケーブルや延長器を取り外す必要はありません。

- ⑤ ウェブインターフェイスの「Configuration」タブをクリックして、「System Configuration」セッションの下部にある「Browse...」ボタンをクリックします。
- ⑥ ファームウェアファイルを選択して、「Update」ボタンをクリックします。
- ⑦ 現在のファームウェアは上書きされる確認メッセージが表示されます。ダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップロードを開始します。
- ⑧ ファームウェアアップグレード作業を開始します。作業は数分間がかかります。RS-232 インターフェイスを使用して、アップグレード作業の進捗を確認できます。
- ⑨ ファームウェアがアップグレードされると、本機は自動的に再起動します。
- ⑩ ファームウェアアップグレード作業は完了します。

●USB インターフェイスを使用

- ① Gefen ウェブサイトからファームウェアをダウンロードします。
- ② 本機の電源を入れます。
- ③ USB ケーブルを使用して、本体とコンピュータを接続します。

※アップグレード作業中はケーブルや延長器を取り外す必要はありません。

- ④ 本体をコンピュータに接続すると、マイコンピュータにリムーバブルディスクアイコンが表示されます。
- ⑤ ZIP ファイルを解凍し、ファームウェアファイル (bin) をリムーバブルディスクにコピーします。
- ⑥ コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- ⑦ ファームウェアがアップグレードされると、本機は自動的に再起動します。
- ⑧ ファームウェアアップグレード作業は完了します。

■仕様

最大対応解像度	1080p フル HD、1920 x 1200 (WUXGA)
最大ピクセルクロック	225 MHz
ビデオ入力端子	HDMI Type-A(19ピン、メス、MonoLOK) × 1
ビデオ出力端子	HDMI Type-A(19ピン、メス、MonoLOK) × 4
RS-232 端子	D-Sub9 ピン(メス) × 1
IP コントロール端子	RJ-45 (シールド) × 1
サービス端子	USB Mini-B × 1 ※ファームウェアアップデート用
電源	DC12V、最大 24W
寸法・質量	W430 × H42 × D200mm(※)、2.2 kg

※突起部除く



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- この取扱説明書に記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>